

1	表題(課題)名	仮設の小屋を利用した1種ケレン(乾式ブラスト)施工	
2	工事(業務)名	R2・3片貝橋塗替塗装工事	
3	受注者名	平川塗装株式会社	
4	工期	令和3年4月20日～令和3年12月20日	
5	担当技術者(立場)名	現場代理人	(かとう まさき) 加藤 正樹
6	担当主任監督(調査)員	新発田維持出張所長	
7	課題区分名	⑤ 施工管理	
8	工事(業務)概要	岩船郡関川村片貝地先、国道113号線片貝橋(A1～P1)の塗替塗装を施工した。	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
	<p>本工事は1種ケレン(乾式ブラスト工法)にて施工する工事ある。1種ケレンでは施工機械(ブラスト機・空気圧縮機等)及び研削材を風雨から守り保管するヤードを現場近くに確保する必要があったが困難であった。</p> <p>ブラスト機及び研削材を雨等で湿った状態で使用すると機械の中やホースの中で研削材が詰まってしまう作業性の低下が懸念される。また、湿った状態の研削材を鋼材面に打ち付けると水分により鋼材面が発錆し再ブラスト作業の必要が懸念された。</p> <p>上記のことから本工事では据付けヤードの確保及び資機材トラブル及び再ブラスト作業により作業工程に影響が出ないための施工管理が課題となった。</p>		
10	【実施内容】		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>研削材を風雨から守るため現場事務所敷地内に保管庫を設置しました。(写真-1・2)</li> </ul>		
			
	写真-1	写真-2	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>機材等をいつでも移動できるよう4tトラックの荷台に仮設小屋(写真3)を据付けし小屋の中にブラスト機及び研削材を積載し移動式としました。</li> </ul>		
			
	写真-3		
11	【実施結果】		
	<p>ブラスト機及び研削材を風雨から守り常に乾燥している状態で使用出来た事で、湿気による機械詰まりもなく研削材も常に良好な状態で作業でき、機械詰まりによる作業の停止や発錆による再ブラスト作業もなく計画通りに作業を完了出来ました。</p>		
			
	ブラスト作業状況	ブラスト作業後の鋼材面	素地調整見本帳との比較

(様式— 2 )

【実施内容等】

- 作業開始時に現場事務所から現場（移動距離約3km）へトラックにて移動し、作業終了時はトラックを現場事務所敷地内へ移動する必要があるため、移動時の安全を考慮し車両の高さを3.8m以下となるよう計画しました。



- 作業車の駐車場所は関川村役場と協議し片貝トンネル脇の村道に駐車しました。



現場据え付け状況

【実地結果総括】

- 小ロットでの研削材発注では運搬費等割高となります。20t程度保管可能な保管庫を設置した事で大ロット（10トン以上）で発注できコストが抑えられました。
- 移動式とする事で夜間は現場事務所敷地に置くことができ、防犯上でも安心出来ました。
- 乾燥した状態で研削材を撃ち付けることができ、発錆もなく品質向上にも繋がりました。